



# 小牧市デジタルイノベーション推進計画

Action Plan

2023-2024



市民と一緒に、輝いていきたい。  
**Komaki**

令和6年3月

# Contents

---

1. 指標の進捗管理
2. 取組一覧
3. 取組計画

## **\*アクションプランについて\***

デジタルイノベーション推進計画の取組みを、確実に実施・推進することを目的に、指標の実績値や施策毎の取組内容・計画、取組実績等を取りまとめたものです。アクションプランは、毎年見直しを行い、ICTを活用した新たな取組みを実施する場合は、随時追加していきます。

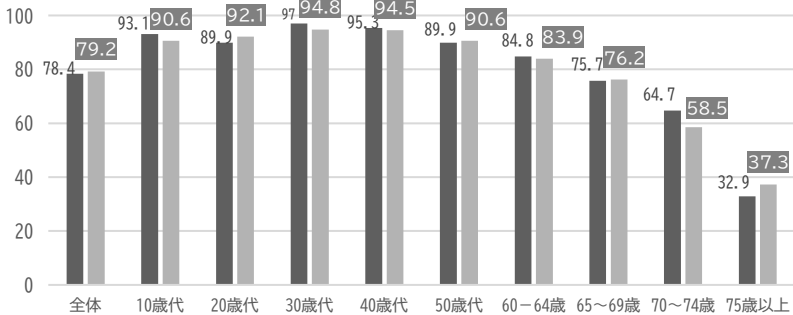
# 1. 指標の進捗管理



## 1-1 ICT 利用実態を把握するための状態指標

・市民の年代別インターネット利用率 (調査時点：%)

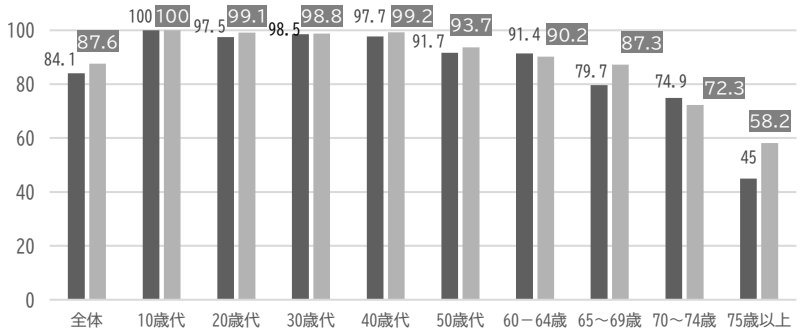
R3	R4	R5	R6	R7	R8
78.4	79.2				



■ R3 ■ R4 (市民意識調査結果より)

・市民の年代別スマートフォン保有率 (調査時点：%)

R3	R4	R5	R6	R7	R8
84.1	87.6				



■ R3 ■ R4 (市民意識調査結果より)

## ❖庁内のデジタル化の状況

庁内のデジタル化の状況を把握するため、「電子決裁比率」と「情報系端末からの印刷枚数」を4半期ごとに調査していきます。

### ・電子決裁比率（％）

	1期 (4-6月)	2期 (7-9月)	3期 (10-12月)	4期 (1月-3月)
R3	8.6	9.4	10.6	11.8
R4	28.5	27.5	27.8	24.1
R5	31.4	35.4	51.4	

### ・情報系端末からの印刷枚数（ページ）

	1期 (4-6月)	2期 (7-9月)	3期 (10-12月)	4期 (1月-3月)
R3	1,545,480	1,310,555	1,304,127	1,488,876
R4	1,547,955	1,326,636	1,393,766	1,544,663
R5	1,621,885	1,365,787	1,400,496	

※ネットワークプリンタ導入（R5.8末）前後の比較を行うため、導入後も従来と同じ方法で印刷枚数カウントしている。

## 1-2 基本施策の成果指標 (※ 基準年：令和2年度)

### ● まちづくり × TECH

#### ① デジタル化への基盤の整備

- ・マイナンバーカード交付率 (%：年度末時点)

基準年	R3	R4	R5	R6	R7	R8
32.1	48.2	72.9				

- ・Wi-Fiを設置した公共施設の数 (施設：年度末時点)

基準年	R3	R4	R5	R6	R7	R8
11	15	15				

#### ② ICTを活用した便利で快適な都市の創造

- ・各種証明書のコンビニ交付通数 (通：年度末時点)

基準年	R3	R4	R5	R6	R7	R8
10,925	18,632	26,355				

- ・各種アプリの活用数 (人：年度末時点)

基準年	R3	R4	R5	R6	R7	R8
21,851	17,107	21,173				

## ● 行政サービス × TECH

### ③ ICT を活用した協働・情報共有の促進

- ・ 公式 LINE の登録アカウント数 (人：年度末時点)

基準年	R3	R4	R5	R6	R7	R8
18,318	61,368	66,448				

- ・ オープンデータとして公開されたデータ数 (年度末時点)

基準年	R3	R4	R5	R6	R7	R8
135	174	231				

### ④ ICT を活用した利便性の高い窓口サービス

- ・ オンライン申請対応の件数 (件数：年度末時点)

基準年	R3	R4	R5	R6	R7	R8
49	59	122				

- ・ 窓口サービスが便利だと思う市民の割合(%：調査時点)

基準年	R3	R4	R5	R6	R7	R8
89.5	88.6	90.8				

● 行政経営 × TECH

⑤ ICT を活用した業務効率化による生産性向上

・ RPA 導入業務数 (シナリオ：年度末時点)

基準年	R3	R4	R5	R6	R7	R8
12	18	27				

・ 電子決裁比率 (%：年度末時点)

基準年	R3	R4	R5	R6	R7	R8
4.7	10.1	28.7				

⑥ デジタル化に対応できるひとづくり

・ ICT/データ活用に関連する研修受講者数(人：年度末時点)

基準年	R3	R4	R5	R6	R7	R8
63	99	136				

・ 情報セキュリティ自己点検実施率 (%：年度末時点)

基準年	R3	R4	R5	R6	R7	R8
98.4	95.3	95.2				

## 2. 取組一覧



### ● まちづくり × TECH

① デジタル化への基盤の整備		
No.	取組項目	担当課
1	マイナンバーカードの取得促進	市民窓口課
2	Wi-Fi（公衆無線 LAN）環境の拡充	行政改革課 関係課
3	次世代通信技術（5G）導入に向けた検討	学校教育 ICT 推進室 行政改革課
4	学校の ICT 環境の整備	学校教育 ICT 推進室
② ICT を活用した便利で快適な都市の創造		
5	マイナンバーカードの活用促進	秘書政策課 関係課
6	図書館のスマホ利用者カードの導入	図書館
7	各種アプリの活用促進	広報広聴課 保健センター 子育て世代包括支援センター ごみ政策課 健康生きがい推進課
8	バスロケーションシステムの利用促進	都市整備課
9	プレミアム商品券の電子化	商工振興課



## ● 行政サービス × TECH

③ ICT を活用した協働・情報共有の促進		
No.	取組項目	担当課
10	SNS（公式 LINE、Facebook、X(旧 Twitter)、Instagram）の活用促進	広報広聴課
11	市民レポートシステムの活用促進	広報広聴課
12	オープンデータの充実	行政改革課
13	課題提案型実証事業の実施	行政改革課
14	自治会運営の電子化の推進	自治会支援室
15	情報格差（デジタルデバイド）の解消	行政改革課
16	保育園業務のデジタル化の推進	幼児教育・保育課
17	児童クラブ入退室管理システムの導入	こども政策課
④ ICT を活用した利便性の高い窓口サービス		
18	オンライン申請の拡充	行政改革課 関係課
19	キャッシュレス決済の拡充	行政改革課/関係課
20	スマート窓口の導入	行政改革課/市民窓口課
21	窓口呼出しシステムの更新(Web で窓口予約、混雑、受付状況確認)	市民窓口課
22	自動応答システムの拡充	広報広聴課
23	新たな施設予約システムの導入	文化・スポーツ課/ 行政改革課
24	患者外来受診支援システムの導入	市民病院（医事課/医療情報システム室）

## ● 行政経営 × TECH

⑤ ICT を活用した業務効率化による生産性向上		
No.	取組項目	担当課
25	RPA・AI-OCR の活用推進	行政改革課
26	Web 会議ツールの活用推進	行政改革課
27	テレワークの推進	人事課/行政改革課
28	AI 議事録の活用推進	行政改革課/議事課
29	庁内におけるデータの活用推進	行政改革課
30	ペーパーレス化の推進	行政改革課 総務課
31	システム標準化への対応	行政改革課
32	クラウド化の推進	行政改革課
33	レセプト精度診断 AI システムの導入	市民病院（医事課/医療 情報システム室）
34	電子加計への音声入力システムの導入	市民病院 （医療情報システム室）
35	AI 問診の拡充	市民病院（医事課）
⑥ デジタル化に対応できるひとづくり		
36	各種研修を活用した人材育成	行政改革課 人事課
37	デジタル化に対応した公文書の取扱い 方法の明確化	総務課 行政改革課
38	ICTリテラシー・情報モラルの向上	行政改革課
39	個人情報保護の徹底	総務課

### 3. 取組計画



#### ● まちづくり × TECH





##### ① デジタル化への基盤の整備

No.1	マイナンバーカードの取得促進	担当課	市民窓口課
概要	出張申請受付の拡充や、カードを持つメリットを分かりやすく伝えていくことで、取得を促進します。		
取組内容	<p>企業等へ出向きマイナンバーカードの申請受付を行います。</p> <p>マイナンバーカードの申請時来庁方式（本人限定郵便で受け取る方式）を行います。</p> <p>マイナンバーカード交付円滑化計画に基づき令和4年度中にほとんどの住民がマイナンバーカードを取得できるように普及促進を行います。</p>		
取組計画	R3	R4	R5
マイナンバーカードの出張申請受付の実施			
申請時来庁方式の導入			
R3実績	<p>国の消費活性化策であるマイナポイント事業の実施に関して、支所及び市役所本庁舎1階のマイナンバーカード申請受付コーナーにて市民のマイナポイント申込み支援を実施しました。また、支所及び本庁保険医療課にてマイナンバーカードの保険証利用登録支援を実施しました。</p> <p>市中央図書館やこども未来館、老人福祉センター等人的の集まる場所にてマイナンバーカードの「出張申請受付」を実施しました。</p> <p>マイナンバーカードの円滑な交付のため、令和3年10月まで支所における交付臨時窓口（月1回）を開設しました。また受取希望の多かった6～7月に本庁にて木曜日の時間外と土曜日に交付臨時窓口を開設しました。（延べ6回）。</p> <p>8月下旬から開庁時間以外でもマイナンバーカードの申請・受取の予約ができるインターネット予約受付を開始しました。</p>		

R4 実績	<p>国の消費活性化策であるマイナポイント事業（第2弾）の実施に関して、支所及び市役所本庁舎1階のマイナンバーカード申請受付特設ブースにて市民のマイナポイント申込み支援とマイナンバーカードの保険証利用登録支援、公金口座登録支援を行いました。ピアレ桃花台にて国と協同してマイナンバーカード出張申請を4月に2日間実施しました。また、県主催の出張申請車を利用した出張申請へ事業申請を行い、9月に市内のドラッグストアで開催しました。市単独では、介護展、図書館、高齢者学級等で啓発と出張申請受付を行いました。</p> <p>また、期日前投票期間中、投票所出口でのマイナンバーカード啓発のビラ配り、区長会役員会でのマイナポイント事業等の周知を行いました。区長郵便も活用し、出張申請のPRも行い、9月に三ツ淵区会館で出張申請受付を行いました。</p>
R5 実績	<p>市民の利便性を図るため、昨年度に引き続き、マイナンバーカードの申請サポートを平日及び日曜日（休日窓口）に実施しました。また、マイナポイント事業（第二弾）に伴うサポートも令和5年9月末まで実施しました。</p> <p>令和5年12月から始まった暗証番号の設定や管理に不安がある方向けの「顔認証マイナンバーカード」の取得について、ホームページで周知し、申請交付に向けた対応を開始しました。</p>

No.2	Wi-Fi（公衆無線 LAN）環境の拡充	担当課	行政改革課 関係課	
概要	公共施設の Wi-Fi 設置場所を拡充するとともに、利用者が使いやすい運用方法を含めた利用環境の整備を進めます。			
取組内容	アジア競技大会の開催に向けて、パークアリーナ小牧の Wi-Fi 環境の整備を行います。 Wi-Fi 設置場所を拡充検討するため、公共施設を所管する関係部署と調整を行います。また、利用者が Wi-Fi 環境をより使いやすくなるため、運用方法の見直しを行います。			
取組計画		R3	R4	R5
運用方法見直し		検討		
パークアリーナ小牧の Wi-Fi 整備		検討		
第1・第2・第3老人福祉センターの Wi-Fi 整備		検討	実施	
集会施設の Wi-Fi 通信費補助		検討	実施	
R3 実績	市公民館、東部・味岡・北里の各市民センターの Wi-Fi 運用方法を見直し、利用者の利便性向上のため Free Wi-Fi を整備しました。			
R4 実績	災害時における情報収集等の通信手段の確保のため、市内避難所となる施設に対して、Wi-Fi が整備されている施設は避難者等に一般開放するなど、災害時の Wi-Fi（業務用を除く）使用に係るルールを定めました。			
R5 実績	第1・第2・第3老人福祉センターにおいて、利用者の利便性向上のため Free Wi-Fi を整備しました。 Wi-Fi 環境を整備する会館の維持管理費交付金を増額し、Wi-Fi 通信費の一部を補助するなどの環境整備を促進したことで、16 会館において Wi-Fi が設置されました。			

No.3	次世代通信技術（5G）導入に向けた検討	担当課	学校教育 ICT 推進室 行政改革課	
概要	次世代通信技術（5G：第5世代移動通信システム）について、国の動向や他自治体の活用事例を参考にし、効果が見込める技術の導入や教育現場の環境整備について検討します。			
取組内容	総務省のローカル5G等の実現に向けた開発実証結果や他自治体の活用事例の調査研究を行います。			
	取組計画	R3	R4	R5
	他自治体での活用事例	調査・研究		
	総務省「教育現場の課題解決に向けたローカル5Gの活用モデル構築事業」結果を踏まえた検討	実施		
R3実績	ローカル5Gの活用については、令和3年度時点でまだ全国的に普及しておらず、引き続き費用対効果を踏まえた調査・研究が必要です。そのため、令和4年3月末に策定した「第2次小牧市学校教育 ICT 推進計画」の基本方針に、ローカル5Gをはじめとする最新の技術動向を考慮しつつ、高速で安定した通信環境の構築について研究することを掲載しました。			
R4実績	令和4年7月に総務省東海総合通信局が主催する「ローカル5G何でも相談会」に出席し、本市におけるローカル5G活用の可能性について検討した他、他自治体での実証実験の取組事例について説明を受けました。引き続き費用対効果を踏まえつつ、通信ネットワークの安定・高速化を図る手法の一つとして調査・研究を行います。			
R5実績	総務省のローカル5G開発実証等報告書により、他自治体でのローカル5G活用事例について調査・研究を行いました。現在、普及が進んでいる5Gの性能をさらに進化させた次世代の移動通信システム Beyond 5G（6G）についても、国や民間企業の動向を注視し、情報収集に努めます。			

No.4	学校の ICT 環境の整備	担当課	学校教育 ICT 推進室
概要	国の GIGA スクール構想に基づき、児童生徒一人一台のタブレットを整備し、こどもたちの時代を切り拓く力を育成します。		
取組内容	<p>全学年において、児童生徒一人一台タブレットをはじめとする ICT 機器を活用した授業を実施し、情報活用能力を育成します。</p> <p>令和3年度に、小牧市学校教育 ICT 推進計画（第2次計画）を策定します。</p> <p>令和3年度に、クラウド活用を踏まえ、教育情報セキュリティポリシー・実施手順を見直します。</p>		
取組計画	R3	R4	R5
ICT 機器を活用した授業			
学校教育 ICT 推進計画（第2次）の策定			
教育情報セキュリティポリシー・実施手順の見直し			
保護者連絡アプリの導入			
R3 実績	<p>各校において、令和2年度に整備した児童生徒1人1台タブレットをはじめとする各種 ICT 機器を活用した授業を行いました。</p> <p>外部の知識経験者及び教員で構成する「小牧市情報教育 ICT 推進委員会」の意見を踏まえ、第2次小牧市学校教育 ICT 推進計画を策定しました。</p> <p>教育ネットワークの分離及びクラウド活用を踏まえ、教員で構成するコンピュータ整備検討委員会において、教育情報セキュリティポリシー・実施手順の見直しを行いました。</p>		
R4 実績	<p>「第2次小牧市学校教育 ICT 推進計画」に基づき、各校において児童生徒1人1台タブレット等を活用した授業を行いました。</p>		

	<p>国の学習者用デジタル教科書実証事業に参加し、主に小学5・6年生と中学校全学年において、「英語」と「実技教科（学校が選択した教科）」の学習者用デジタル教科書を活用しながら授業を行いました。</p> <p>5月から、学習 e ポータルを設定し、文部科学省 CBT システム（MEXCBT）の利用環境を整備しました。</p> <p>3学期から、全小中学校で保護者連絡アプリ「totoru」の運用を開始し、保護者から学校への欠席連絡、学校から保護者への連絡配信（文書のデジタル配信）ができるようにしました。</p>
R5 実績	<p>「第2次小牧市学校教育 ICT 推進計画」に基づき、各校において児童生徒1人1台タブレット等を活用した授業を行いました。</p> <p>国の学習者用デジタル教科書実証事業に参加し、主に小学5・6年生と中学校全学年において、「英語」と「算数・数学」の学習者用デジタル教科書を活用しながら授業を行いました。</p> <p>令和5年8月末でリース期間満了を迎えた小中学校の教職員用コンピュータ及び小学校のプログラミング教材及び情報モラル教材等を更新しました。また、1台の教職員用端末で2つのネットワークを切り替えて利用するネットワーク分離環境を構築し、セキュリティの強化を図りました。</p>



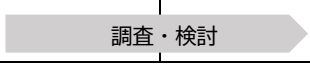


## ② ICT を活用した便利で快適な都市の創造

No.5	マイナンバーカードの活用促進	担当課	秘書政策課 関係課
概要	マイナンバーカードを用いて取得するコンビニ交付サービスや市民病院における診察券としての活用を促進していきます。また、マイナポータルによる情報提供を充実させるほか、図書館の利用者カードとしてマイナンバーカードを活用できるようにするなど、用途の拡充を進めます。		
取組内容	中央図書館の供用開始に合わせて、図書館の利用者カードとしての利用が開始されています。今後も、マイナンバーカードの多目的利用に向けた調査検討を行います。		
	取組計画	R3	R4
	コンビニ交付サービス	実施	
	市民病院の診察券	実施	
	図書館の利用者カード	実施 (R3.3.27～利用開始済)	
	カードの多目的利用	調査・検討・実施	
R3 実績	マイナンバーカードを活用した市町村独自のサービスについて、他自治体の活用事例を調査しました。		
R4 実績	自治体マイナポイント制度やマイナンバーカードを活用したサービスの提供可能性について調査しました。		
R5 実績	自治体マイナポイント制度やマイナンバーカードを活用したサービスの提供可能性について調査しました。		

No.6	図書館のスマホ利用者カードの導入	担当課	図書館
概要	スマートフォンを図書館の利用者カードとして利用できるようにします。		
取組内容	中央図書館の供用開始に合わせて、スマートフォンを図書館の利用者カードとして利用できるよう整備しています。		
	取組計画	R3	R4
	スマホ利用者カード導入	実施 (R3.3.27~導入済)	
R3実績	令和3年3月の中央図書館の供用開始に合わせて、スマホ利用者カードの運用を開始しました。		

(R3 取組完了)

No.7	各種アプリの活用促進	担当課	広報広聴課 保健センター 子育て世代包括支援センター ごみ政策課 健康いきがい推進課		
概要	子育て応援アプリ「すくすくこまキッズ」やごみ分別アプリ「さんあ〜る」、ウォーキングアプリ「alko」等の各種アプリを配信しています。更なる活用を促進するため、市民に広く周知していきます。				
取組内容	広報や市ホームページを通じた周知活動を積極的に実施する他、利便性の高いアプリとするよう、費用対効果を勘案し、各種アプリの活用を促進する取組みを実施します。また、他自治体で導入されており、本市でも活用が見込めるアプリ等がないか調査を行います。				
	取組計画	R3	R4	R5	
	活用を促進する取組み				
	広報や市ホームページ等を通じた周知活動				
	他自治体の導入事例				
R3実績	広報こまき、市ホームページ及び SNS 等を活用し、周知活動を行いました。				
R4実績	広報こまき、市ホームページ及び SNS、市民まつりなどのイベント等を活用し、周知活動を行いました。				
R5実績	広報こまき、市ホームページ及び SNS、市民まつり、高齢者の集まるイベントなどを活用し、周知活動を行いました。				

No.8	バスロケーションシステムの利用促進	担当課	都市整備課
概要	GPSによる位置情報を収集し、こまき巡回バス「こまくる」の運行状況等を市民病院に設置したデジタルサイネージやインターネット上で利用者に提供しています。バスの利用促進を図るため、今後も利便性の向上に努めます。		
取組内容	各種イベントなどを通じた周知活動を積極的に実施する他、今後、見やすさや利用しやすさの改善等、利便性の高いシステムとなるよう取組みます。		
	取組計画	R3	R4
	システムの改善	実施	
	各種イベントなどを通じた周知活動	実施	
R3実績	バスロケーションシステムの周知を図るため、7月・8月に実施したこまくる利用者アンケート調査にあわせて、バスロケーションシステム周知のチラシを配布しました。 また、工事や事故による突発的な遅延の周知を図るため、システム内に路線ごとのお知らせ欄を作成し、利便性の向上を図りました。		
R4実績	バスロケーションシステムの周知を図るため、いきいきこまきや高齢者が参加するスマートフォン活用講座において、案内チラシを配布しました。また、車内デジタルサイネージに案内スライドを掲出しました。 工事や事故による遅延やイベント等による迂回運行や連休等の周知を図るため、システムのトップページや路線ごとのお知らせ欄に情報を記載し、利便性の向上を図りました。		

R5 実績	<p>バスロケーションシステムの周知を図るため、市民まつりや高齢者が参加するスマートフォン活用講座において、案内チラシを配布しました。また、車内デジタルサイネージに案内スライドを掲出しました。</p> <p>工事や事故による遅延やイベント等による迂回運行や運休等の周知を図るため、システムのトップページや路線ごとのお知らせ欄に情報を記載し、利便性の向上を図りました。</p>
-------	---

No.9	プレミアム商品券の電子化	担当課	商工振興課
概要	紙で発行しているプレミアム商品券の電子化を検討します。電子化により、販売・発行・換金に関わる効率化を進めます。		
取組内容	商業振興検討業務やキャッシュレス決済ポイント還元事業を基に市内商業の現状を把握、分析し、プレミアム商品券の電子化を検討していきます。		
	取組計画	R3	R4
	プレミアム商品券の電子化	調査・研究	
R3 実績	令和2年度に実施した3つの経済対策（こまき応援キャッシュレス決済ポイント還元事業、こまき応援食事券事業、こまきプレミアム商品券発行助成事業）と商業振興検討業務の実施結果から、市内における電子決済導入状況を整理するとともに他市の事例などの調査を行い、商品券の電子化導入について検討を行いました。		
R4 実績	他市の事例調査や電子商品券の提案に関する事業者ヒアリング等を行いました。現状は、企業の自社決済システムとの連携や商品券の利便性の低下、経費の増加等の課題が継続することから、現段階での導入は見送りデジタル技術を活用した様々な電子化による事業者支援も含めて調査研究を行うこととしました。		
R5 実績	他市の事例調査や電子商品券の提案に関する事業者ヒアリング・見積徴収等を行いました。現状は、企業の自社決済システムとの連携や商品券の利便性の低下、経費の増加等の課題が継続しており、引き続きデジタル技術を活用した様々な電子化による事業者支援も含めて調査研究を行うこととしました。		

● 行政サービス × TECH

③ICT を活用した協働・情報共有の促進

No.10	SNS（公式 LINE、Facebook、X(旧 Twitter)、Instagram）の活用促進	担当課	広報広聴課
概要	SNS を通した市民・事業者との情報交換・共有等、多様なコミュニケーションの機会を提供します。		
取組内容	LINE を活用したセグメント配信機能など、今後も市公式 LINE を活用して新たな機能拡充を検討します。 より多くの市民に情報を伝えるため、動画を中心とした情報発信を行います。		
	取組計画	R3	R4
	市公式 LINE の機能拡充	調査・研究	
	動画による情報発信	実施	
R3 実績	公式 LINE において市民に対し必要な情報をきめ細かく届けるため、ユーザーが選択した分野の情報だけを受信できるセグメント配信を、令和 3 年 11 月 30 日から試験的に開始しました。		
R4 実績	高齢者が参加するスマートフォン活用講座などで、SNS の使い方や操作方法などの PR を行いました。また、公式 LINE において、新たなセグメント配信システムを令和 5 年 3 月に構築しました。		
R5 実績	高齢者が参加するスマートフォン活用講座などで、SNS の使い方や操作方法などの PR を行いました。また、広報こまきにて特集記事を掲載し、活用の促進に努めました。		

No.11	市民レポートシステムの活用促進	担当課	広報広聴課
概要	道路や公園遊具等の不具合に関する情報提供を受け付ける、市民レポートシステムを運用しています。引き続き、対象の拡充や市民の参画を促進します。		
取組内容	他自治体での取組みを参考に、対象業務の拡充を検討します。また、市民の参画を促進するため、広報や市ホームページ等を活用し周知を継続して行っています。		
	取組計画	R3	R4
	市民レポートシステム「まちレポこまき」の運用	実施	
	対象業務の拡充	検討	
	広報や市ホームページ等を通じた周知活動	実施	
R3 実績	「まちレポこまき」の情報提供項目を増やすため、4月に各課照会を行い、5月から「違反屋外広告物」を追加しました。「まちレポこまき」のさらなる利用促進や、正しい使い方をPRするため、LINE で不具合を通報する際の「まちレポこまき」の使い方や操作方法などをケーブルテレビを活用し、広く啓発しました。		
R4 実績	一般市民を対象としたタウンミーティングや高齢者が参加するスマートフォン活用講座で「まちレポこまき」の使い方や操作方法などのPRを行いました。		
R5 実績	高齢者が参加するスマートフォン活用講座で「まちレポこまき」の使い方や操作方法などのPRを行いました。また、広報こまきに特集記事を掲載し、活用の促進に努めました。		



No.12	オープンデータの充実	担当課	行政改革課
概要	市が有するデータの公開や使用ができる形での保持に努めます。また、公開データの数を増やし、誰もが容易に二次利用が可能な環境を提供します。		
取組内容	オープンデータ推進による市政の透明性の向上や経済活性化、市民や地域コミュニティと一体となり地域課題を解決する取組みを推進するために「小牧市オープンデータ推進に関する基本方針」を策定しました。庁内へのオープンデータ推進に関する取組みを周知し、公開データの拡充、標準フォーマットへの対応及び定期的なデータの更新を実施します。		
	取組計画	R3	R4
	オープンデータの整備拡充	実施	
	オープンデータの利用促進	検討	
R3実績	市公式ホームページにオープンデータライブラリとして174件のデータを公開しました。また、写真ライブラリとして114件の写真を公開しました。		
R4実績	市公式ホームページのオープンデータライブラリについて、公開されているデータの精査及び最新の情報に時点修正しました。写真ライブラリについて、市ホームページ内から移設し、外部サイトを利用して写真データのカタログサイトを構築しました。 経路検索サービスや地図サービスへの情報提供を目的として、こまき巡回バス「こまくる」のGTFS*データを整備しました。 (General Transit Feed Specification: 公共交通機関の時刻表とその地理的情報に使用される共通形式を定義したもので、Google マップなどの経路検索サービス等で利用されている。)		

R5 実績	市公式ホームページのオープンデータライブラリについて、公開されているデータをより実用的かつ機械判読に適したファイルに修正しました。
-------	---

No.13	課題提案型実証事業の実施	担当課	行政改革課
概要	市民・事業者等と行政の協働により、ICT を活用して地域課題の解決に取り組みます。		
取組内容	各課が抱える地域課題・行政課題を抽出し、ICT を活用して課題解決に取り組むテーマの選定を行います。そして、選定した課題を提示して、その解決アイデアを募集し、優れたアイデアを有する事業者とともに実証実験を実施します。		
	取組計画	R3	R4
	庁内での課題募集・選定	選定	
	実証実験		実施
	庁内での課題募集・選定		選定
R3 実績	課題提案型実証事業について理解を深めるため、令和3年7月に幹部向け・一般職員向けに研修を行い、全庁的に課題募集を行いました。応募のあった課題の中から、令和4年度に実証実験を行うテーマを4つ選定しました。選定したテーマの担当課向けにワークショップを行い、成果指標や企業募集用原稿の作成など、実証実験に向けた準備を行いました。		
R4 実績	令和3年度に選定した4つのテーマについて、企業募集用のホームページを作成し、6月末から企業募集を開始しました。7月中旬に応募を検討している企業向けに、オンライン説明会を開催しました。募集の結果、33者から応募があり、一次審査（書類審査、一次面談）、最終面談（担当課面談）により実証実験を行う企業を2者選定しました。 9月から担当課・企業・事務局（行政改革課）が協働し実証実験を開始しました。3月に実証実験の結果をとりまとめた報告書を作成しました。		

R5 実績	<p>令和5年10月に一般職員向けに説明会を行い、全庁的に課題募集を行いました。併せて、若手職員のチャレンジ精神や成長の機会を促進するため、新たに若手チャレンジ枠を設け課題募集を行いました。応募のあった課題の中から、令和6年度に実証実験を行うテーマを3つ選定しました。選定した3つのテーマについて、企業募集用のホームページを作成し、1月末から企業募集を開始しました。2月中旬に応募を検討している企業向けに、オンライン説明会を開催しました。募集の結果、33者から応募があり、一次審査（書類審査、一次面談）、最終面談（担当課面談）により実証実験を行う企業を選定しました。</p>
-------	---

No.14	自治会運営の電子化の推進	担当課	自治会支援室
概要	タブレット端末やスマートフォンを活用して、平時は区の電子回覧板や情報発信ツールとして、災害等の緊急時には安否確認システムとして活用できる、地域活動支援システムを導入します。		
取組内容	令和4年度から地域活動支援システムを活用して、区長への連絡網を作成し、電話連絡・郵便物などの削減を目指します。また、電子回覧板などの活用を希望する区を募り、実験的に活用し、効果検証を行います。		
	取組計画	R3	R4
	地域活動支援システム	検討	実施
R3実績	既に導入を進めている他市の事例などの調査を行い、地域活動支援システムの導入について検討を行いました。		
R4実績	区長との連絡や自治会運営に活用できる専用アプリを導入し、令和4年7月から区長連絡網を構築・活用を開始し、月2回の区長郵便のデータの発送を行い、迅速な情報伝達に努め、軽微な文書について電子データのみで送付するなどの対応を行いました。また令和4年10月にモデル区を8区選定し、実際に区の運営でアプリを通じて電子回覧や会議資料の共有などを行いました。		
R5実績	区長との連絡や自治会運営に活用できる専用アプリ導入を進め、迅速な情報伝達や軽微な文書のデータ送付を昨年度に引き続き行いました。今年度は、各種申請様式やオンライン申請サイトへのリンクのアプリ上への掲載や、PDF化された申請書類をアプリで受理するなど、活用の拡充を図りデジタル化を推進しました。また、モデル区については昨年度からの継続と合わせて13区を選定し、電子回覧や会議資料の共有などを行いました。		

No.15	情報格差（デジタルデバイド）の解消	担当課	行政改革課
概要	社会全体のデジタル化が進められる中、高齢者をはじめとした誰もがデジタルを活用することができるよう、情報格差（デジタルデバイド）の解消に向けた取組みを進めます。		
取組内容	<p>総務省のデジタル活用支援推進事業や、愛知県の高齢者デジタルサポーター事業などを活用し、デジタル活用に不安のある高齢者等の解消に向けてスマホ教室を開催します。</p> <p>令和5年度からスマートフォンを使ってみたい、または、スマートフォンの操作に不安がある高齢者を対象に、基本的な操作方法の習得や市の公式 LINE の活用などを目的としたスマホ教室（集合型教室・個別相談会・スマホサロン・出張型スマホ教室）を実施します。（高齢者デジタルサポート事業）</p>		
	取組計画	R3	R4
	スマホ教室の開催	実施	
	高齢者デジタルサポート事業の実施		実施
R3 実績	KDD I 株式会社と連携し、地域協議会の委員を対象にスマホ教室（12月中に4回）を開催しました。		
R4 実績	<p>愛知県高齢者デジタルサポーター制度を活用し、市役所・東部市民センターで高齢者スマートフォン活用講座を開催しました。（5回）</p> <p>CCNet 株式会社と連携し、スマートフォンの活用を希望する市民を対象にスマホ活用講座を開催しました。（6回）</p> <p>ソフトバンク株式会社と連携し、市役所及び第2老人福祉センターでスマホ体験教室を開催しました。（2回）</p> <p>名古屋大学情報学研究科浦田研究室とともに、高齢者スマートフォン個別相談会を開催しました。（1回）</p> <p>こまき市民活動ネットワークと連携し、ワティブ こまきでシニア向けスマホ教室「はじめてのLINE講座」を開催しました。（1回）</p> <p>≪R4年度参加者数：189名≫</p>		

R5 実績	<p>愛知県高齢者デジタルサポーター制度を活用し、市役所で高齢者スマートフォン活用講座を開催しました（1回）。</p> <p>スマホ初心者の方向けの『スマホ教室』を、市民センター、コミュニティセンター及び中央図書館で実施しました（12回）。</p> <p>スマホを持つ一人ひとりの悩みや不安を解消する、『スマホ個別相談会』を、市民センター、コミュニティセンター及び中央図書館で実施しました（24回）。</p> <p>予約不要で自由にスマホ利用に係る悩みや不安を解消する『ふらっと・スマホ相談会』を老人福祉センターで実施しました（40回）。</p> <p>サロン等の団体向けに訪問してスマホ教室を開催したり、市民まつり等の市民が集まるイベントに相談ブースを出展したりする『出張型スマホ教室』を実施しました（26回）。</p> <p>名古屋大学情報学研究科浦田研究室とともに、『高齢者デジタル相談会』を実施しました（2回）。</p> <p>≪R5 年度参加者数：1,261 人≫</p>
-------	---

No.16	保育園業務のデジタル化の推進	担当課	幼児教育・保育課
概要	保育現場における業務の負担軽減と保護者の利便性向上を図るため、タブレット端末等を活用して、保育業務のデジタル化を推進します。		
取組内容	保育園の各園に Wi-Fi 環境を整備し、タブレット端末や小型のモバイル端末を配備します。また、タブレット端末等を活用して、園児の登降園管理や保育士のシフト管理等ができる保育 ICT システムを導入します。		
	取組計画	R3	R4
	保育園の Wi-Fi 環境の整備		実施
	タブレット端末等の ICT 機器の配備		実施
	保育 ICT システムの導入	検討	実施
R3 実績	導入を進めている他市の事例などの調査やシステム会社によるデモを行うなど、保育 ICT システムの導入について検討を行いました。		
R4 実績	令和 4 年 6 月に各公立保育園、第一幼稚園に Wi-Fi 環境を整備し、各園にタブレット端末 1 台及び各クラスに小型のモバイル端末を 1 台配備しました。また、令和 5 年 1 月に各公立保育園において 2 台から 4 台のタブレット端末を追加で配備するとともに、保育 ICT システムとして「CoDMON (コドモン)」を導入し、保育園と保護者にとって有益だと考える、登降園の管理、保護者からの欠席連絡、保護者へのお知らせ配信の 3 つの機能を優先的に保育現場での活用を開始しました。		
R5 実績	令和 5 年 4 月から、保護者向けアンケート機能を活用するとともに、今まで保育士が紙で作成していた園児の健康診断記録や指導案等の事務文書について、コドモンで作成する運用を開始しました。今後は、令和 6 年度からの連絡帳機能の活用に向けて、必要な準備を進めます。		



No.17	児童クラブ入退室管理システムの導入	担当課	こども政策課
概要	児童クラブの入退室時の利用児童や保護者の利便性を向上するとともに、児童クラブ利用実績に応じた保護者負担金の追徴作業を行う職員の膨大で煩雑な事務を効率化するため、紙台帳による管理方法をデジタル化した管理方法へ移行します。		
取組内容	利用児童の入退室管理をデジタル化するため、各児童クラブに入退室管理を行うデジタルツールを導入するとともに、導入に伴い必要となる Wi-Fi 環境整備やタブレット端末の配備等を行います。		
取組計画	R3	R4	R5
入退室管理システムの導入		検討	実施
児童クラブの Wi-Fi 環境の整備			実施
タブレット端末等の ICT 機器の配備			実施
R4 実績	<p>児童の入退室管理を行うデジタルツールの導入に向けて、他市の導入状況等の調査・研究を行いました。</p> <p>調査・研究結果を踏まえて、児童クラブ所長を交えた入退室管理システムの導入検討会議を4回開催し、事業者による入退室管理システムのデモンストレーションを含め、入退室管理システムの導入に向けて求める機能等を検討しました。</p>		
R5 実績	<p>令和4年度に引き続き、導入検討会議を1回開催し、事業者による入退室管理システムのデモンストレーションを含め、入退室管理システムの導入に向けて求める機能等を検討しました。</p> <p>導入検討会議を踏まえ、入退室管理システム及びタブレット等の必要な予算を令和5年9月補正予算として議会に上程しました。予算成立後は、入退室管理システムについて公募型プロポーザルにて事業者を選定し、入退室管理システム「安心でんしょばと」の導入を決定するとともに、タブレット等の必要となる備品等の入札を実施しました。</p> <p>令和6年1月に、入退室管理システムの導入に伴う環境整備を行</p>		

うため、各児童クラブに Wi-Fi 環境を整備し、タブレット端末及びノートパソコンを配備するとともに、児童クラブ所長・指導員を対象に入退室管理システム操作研修会を開催しました。また、児童クラブ職員向けの運用マニュアルや FAQ を作成し、児童クラブに配布しました。

令和6年2月13日からは、入退室管理システムの試行運用を行い、利用児童・保護者も含めて入退室管理システムの本格導入に向けた検証を行い、運用マニュアルの更新や FAQ の追加を行い、本格運用に向けて準備を進めました。

令和6年3月1日から入退室システムの本格運用を開始しました。

### ③ ICT を活用した利便性の高い窓口サービス

No.18	オンライン申請の拡充	担当課	行政改革課 関係課
概要	オンラインでの申請、届出や電子認証等のサービス拡充により、利便性を向上させます。		
取組内容	<p>国の動向を注視しつつ各種手続きについて、受付・申込から決済、受け取りまで完了できるようなオンライン申請の拡充に向けた環境整備を進めます。</p> <p>令和4年度末を目指して、令和3年7月に総務省が作成した「自治体の行政手続きのオンライン化に係る手順書第1.0版」をふまえ、特に国民の利便性向上に資する手続き（子育て・介護関係など27手続き）をマイナポータルからオンライン申請できるようにします。《オンライン申請可能手続きは巻末を参照》</p>		
取組計画	R3	R4	R5
オンラインによる届出	実施		
電子署名・電子決済を利用した申請	準備・検討	実施	
特に国民の利便性向上に資する手続き（27手続き）	準備・検討		実施
オンライン申請に係る決済機能の搭載		準備・検討	実施
R3実績	<p>本市における行政手続きのオンライン化の方向性を決定し、行政手続きの棚卸しを行うとともに、オンライン上での手続きの拡充を検討しました。</p> <p>また、全庁的に行政手続きのオンライン化を進めるため、条例や規則の改正および要綱制定を行うために準備を進めました。</p> <p>なお、国の動向を踏まえる必要がある手続きについては、国のオンライン化のスケジュールに沿って、関係課と連携を図りながら拡充を進めていきます。</p> <p>Logo フォームを活用し、こまきスマート申請として新たに児童クラブ</p>		

	<p>の休会届・退会届・加入期間変更届、子ども医療費受給者証の新規・変更届などをオンライン申請できるようにしました。</p>
R4 実績	<p>令和4年度行政手続のオンライン化実施方針を策定し、国が「特に国民の利便性向上に資する手続」と指定している27手続のうち、オンライン化されていない18手続と手数料等の決済が不要かつ取扱件数が多いなど、オンライン化をすることによる効果が大きいと見込まれる47手続を、令和5年4月1日時点でオンライン化されているように準備を進めました。</p> <p>また、全庁的に行政手続のオンライン化を進めるため、市長部局及び教育委員会事務局において「行政手続等における情報通信の技術の利用に関する要綱」を制定しました。</p>
R5 実績	<p>令和5年度当初に、行政手続のオンライン化の取組方針を策定し、効果が低いと考えられるものを除き、原則オンライン化を実施することとしました。</p> <p>また、令和5年10月、オンライン申請にキャッシュレス決済の機能を新たに追加し、申請から手数料等の支払いまでの手続が、オンライン上で完結できるようになりました。今後も順次対象手続きの拡大を進めていきます。</p>

No.19	キャッシュレス決済の拡充	担当課	行政改革課 関係課
概要	市民の利便性を向上するため、市税等の納付の方法と機会を充実するとともに、使用料や手数料等へのキャッシュレス決済導入を検討します。		
取組 内容	<p>令和3年4月より、市税等収納にスマートフォン決済アプリ「PayPay」及び「LINEPay」を導入します。</p> <p>令和3年5月より、篠岡・味岡・北里の各支所で、証明交付手数料の支払いに、QRコード決済「PayPay」及び「LINEPay」の実証実験を実施します。</p> <p>新たな施設予約システムの導入（令和5年1月予定）にあわせて、キャッシュレス決済を導入します。</p> <p>他自治体の導入事例を調査研究し、キャッシュレス決済の拡充を検討します。</p>		
取組計画	R3	R4	R5
市税等収納のスマートフォン決済アプリ	実施		
証明交付手数料のQRコード決済実証実験	実施		
証明交付手数料のキャッシュレス決済		実施	
公共施設使用料のキャッシュレス決済		実施	
R3実績	<p>令和3年4月より、市税等収納にスマートフォン決済アプリ「PayPay」及び「LINEPay」を導入しました。</p> <p>篠岡・味岡・北里の各支所において、令和3年5月から9月の期間で証明交付手数料のQRコード決済（PayPay、LINE Pay）実証実験を実施しました。また、小牧市歴史館、れきしるこまき、中部公民館（プラネタリウム）、およびパークアリーナ小牧（トレーニングジム）において、令和3年7月から9月の期間で公共施設入場料のQRコード決済（PayPay、LINE Pay）実証実験を実施しました。実証実験結果をふまえ、令和4年度から市民窓口課の証</p>		

	<p>明交付窓口でキャッシュレス決済を、篠岡・味岡・北里の各支所でQRコード決済を導入することとしました。</p>
R4 実績	<p>令和4年6月から市民窓口課の証明書交付窓口において、マルチ決済（クレジットカード、電子マネー及びQRコード決済）に対応したキャッシュレス決済を開始しました。</p> <p>令和4年6月から味岡支所、篠岡支所及び北里支所の証明書交付窓口において、QRコード決済（PayPay）を開始しました。</p> <p>令和4年9月からこまきこども未来館において、QRコード決済を導入しました。</p> <p>令和5年1月から新たな公共施設予約システムの導入に合わせて、クレジットカード決済を導入しました。</p>
R5 実績	<p>令和5年10月にあいち電子申請・届出システムにキャッシュレス決済機能を追加し、オンライン上でキャッシュレス決済（クレジットカード、PayPay）が行えるようになりました。令和6年2月より、市民窓口課の住民票等のオンライン申請におけるキャッシュレス決済を開始しました。</p>

No.20	スマート窓口の導入	担当課	行政改革課 市民窓口課
概要	窓口利用者が職員に申請内容を伝え、本人確認書類を提示した後、職員が作成した申請書等に「確認・署名」をする「書かずに簡単らくらく窓口『こまきスマート窓口』」を導入します。		
取組内容	令和4年2月から本庁舎で、証明発行に関する手続き、住民異動（転出・転居）に関する手続きを、令和4年6月から住民異動（転入）に関する手続きで、スマート窓口を実施します。 また、令和4年11月から篠岡・味岡・北里の各支所においてスマート窓口を実施します。		
	取組計画	R3	R4
	<本庁>証明発行、住民異動（転出転居）に関する手続き	検討	実施（R4.2～）
	<本庁>住民異動（転入）に関する手続き	検討	実施（R4.6～）
	篠岡、味岡、北里の各支所での手続き	検討	実施（R4.11～）
R3実績	令和4年2月から本庁舎にて証明発行手続き、住民異動（転出転居）に関する手続きで、スマート窓口を実施しました。同月より転入手続きについて、来庁日時や必要な情報を事前に予約フォームに入力することで、当日は、対象の手続きをワンストップで手続きが行える「転入予約型ワンストップ窓口」を実施しました。また、来庁する前に必要な手続きや持ち物を事前にWeb上から確認できるデジタル手続きガイドを作成しました。		
R4実績	令和4年6月からは、転入に関する手続きについて、「こまきスマート窓口」を開始しました。令和4年11月からは各支所において、本庁舎で導入済みの「こまきスマート窓口」の手続きのうち、各支所で行うことのできる手続きについて、取扱いを開始しました。また、令和5年3月から、新たにマイナンバーカードに関連する申請書をこまきスマート窓口に追加し、スマート窓口の拡充を行いました。		

(R4 取組完了)

No.21	窓口呼出しシステムの更新（Web で窓口予約、混雑・受付状況確認）	担当課	市民窓口課
概要	Web からの窓口混雑状況や受付状況確認、窓口予約機能の追加を検討し、市民に利用しやすく、分かりやすい窓口呼出しシステムに更新します。		
取組内容	窓口呼び出しシステムに新たに追加する機能を検討し、必要となるモニターや発券機等の数量・配置レイアウトを整理する等の準備を行い、窓口呼出しシステムを更新します。		
	取組計画	R3	R4
	窓口呼出しシステム	準備	実施
R3 実績	本庁舎 1 階の窓口呼出しシステムの更新のために、プロポーザルを実施し、業者を決定しました。令和 4 年 2 月より、新たな呼出しシステムを導入する事により、案内掲示板や WEB 上で待ち人数が確認できるなど、市民の利便性が向上しました。		

(R3 取組完了)



No.22	自動応答システムの拡充	担当課	広報広聴課
概要	入力した質問等に対し、AI が自動的に応答するプログラムの活用業務を拡充して対応精度を向上させます。		
取組内容	より多くの業務に対応できるよう、想定Q & Aの追加を行います。令和4年度より、愛知県内市町村が共同利用する「AI を活用した総合案内サービス」への参加を検討します。		
	取組計画	R3	R4
	想定Q & Aの追加	実施	
	「AI を活用した総合案内サービス」への参加	検討	実施
R3 実績	運用の中で日常的に対処ログをチェックし、必要に応じて随時FAQの追加・修正などを行うことで、利便性の向上に努めました。また、愛知県が共同で調達している自動応答システムについて、小牧市での導入の可能性について調査研究を進めました。		
R4 実績	運用の中で日常的に対処ログをチェックし、必要に応じて随時FAQの追加・修正などを行うことで、利便性の向上に努めました。令和4年10月より、愛知県が共同で調達している自動応答システムへ乗り換えました。FAQの項目数を20倍程度に増やしたうえで、AIの機能を大幅に向上したことで、より正確に回答できるよう改善しました。		
R5 実績	運用の中で定期的に対処ログをチェックし、FAQの追加・修正などを行うことで、利便性の向上に努めました。また、広報こまきに特集記事を掲載し、活用の促進に努めました。		

No.23	新たな施設予約システムの導入 (オンライン予約、抽選機能)	担当課	文化・スポーツ課 行政改革課	
概要	スポーツ施設等の公共施設の予約を行う施設予約システムの利便性を向上させるため、オンライン予約や抽選機能等を有するシステムの導入をします。			
取組内容	施設予約に関するルールの見直しを行い、令和5年1月までに、キャッシュレス決済やオンライン予約等に対応した新たな施設予約システムを導入します。			
	取組計画	R3	R4	R5
	施設予約ルールの見直し	実施		
	新施設予約システム	調査・検討	実施	
R3 実績	小牧市デジタルイノベーション推進委員会作業部会（公共施設予約システムチーム）を開催し、キャッシュレス決済やオンライン予約等の機能の検討をはじめ、新施設予約システム導入に向け、必要な機能、運用の精査を行いました。令和5年1月の稼働を目指し、令和4年2月上旬に構築業務委託契約ができるよう、プロポーザルを行いました。			
R4 実績	市民への周知や現在施設を利用している団体等に新システム稼働に先立って利用者登録を促しました。キャッシュレス決済やオンライン予約等の機能を搭載した、新たな施設予約システムについて、令和5年1月から稼働を開始しました。			

(R4 取組完了)

No.24	患者外来受診支援システムの導入	担当課	市民病院（医事課、医療情報システム室）	
概要	スマートフォンアプリ等を使った「自動受付」、「予約管理」、「後払い会計」機能などを持ったシステムを導入することで、市民病院の利用者の利便性を向上させるとともに、外来や会計での待ち時間を削減し、混雑緩和を図ることで、利用者の満足度の向上を図ります。			
取組内容	導入後の運用を想定し、各社のシステムを比較検討したうえで、当院にとって最適なシステムを選定します。建設中の立体駐車場の完成時期に合わせた本稼働を目指しますが、「後払い会計」機能など準備が整ったサービスから展開していきます。			
	取組計画	R3	R4	R5
	患者外来受診支援システム	準備	実施	
R3実績	市民病院の会計の待ち時間短縮や混雑解消を図るため、通院支援アプリ「コンシェルジュ」の導入を行いました。令和3年7月から病院職員によるプレ運用を開始し、9月から本稼働を開始しました。			

(R3 取組完了)

● 行政経営 × TECH

⑤ICT を活用した業務効率化による生産性向上

No.25	RPA・AI-OCR の活用推進	担当課	行政改革課
概要	定型処理でかつ専門知識を求めない業務について、RPA・AI-OCR を活用し、業務の自動化による業務時間の削減及び業務の効率化を推進します。		
取組内容	RPA を動かすシナリオ作成について、内製化するよう職員向けに研修を実施します。作成したシナリオを使用し、RPA を活用した業務を行っていきます。 手書き申請書等に AI-OCR を活用し、データ化することで業務効率化を検討します。≪RPA・AI-OCR 導入業務は巻末を参照≫		
	取組計画	R3	R4
	RPA 研修	実施	
	職員によるシナリオ作成	実施	
	AI-OCR、RPA の活用	実施・検証	
R3 実績	職員向けに RPA シナリオ作成を内製化するため、10 月から 2 月の期間で研修を実施しました。併せて、給与システム基本情報登録業務など 7 つのシナリオを作成しました。		
R4 実績	≪AI-OCR≫ 広報こまき市民（読者）アンケート、出産応援ギフト支援申請書兼請求書など、新たに 13 様式を定義しました。 ≪RPA≫ 軽自動車税新規登録業務、会計年度任用職員勤務状況入力業務など、新たに 8 つのシナリオを作成しました。		
R5 実績	≪AI-OCR≫ 広報こまき市民（読者）アンケートの様式変更、健康いきいきポイントの申請書など、新たに 3 様式を定義しました。		

≪RPA≫

課税台帳異動業務、保育料の減免入力業務など、新たに6つのシナリオを作成しました。

No.26	Web 会議ツールの活用推進	担当課	行政改革課
概要	場所や時間を問わず、オンライン上で会議ができるよう環境整備を行います。打合せやセミナー等で、Web 会議ツールを活用することで、人の移動に係る時間や費用を削減するなど、業務効率化につなげます。		
取組内容	Web 会議に利用できる端末の拡充、モバイル Wi-Fi の導入、及び Web 会議室を設置する等、ウェブ会議が可能な環境の整備を行います。		
	取組計画	R3	R4
		R5	
	iPad による Web 会議	実施	
	Web 会議室の設置	準備	実施
	Web 会議室(一人用)の設置	準備	実施
R3 実績	Web 会議の活用を進めるため、iPad、モバイル Wi-Fi を導入しました。また、利用率向上のため、貸出機器の予約方法を簡素化しました。 Web 会議ができるよう、Web 会議用の端末やカメラ、集音マイク等を備えた会議室を設置しました。また、オンライン研修などの増加に対応するため、一人用ウェブ会議室を設置しました。		
R4 実績	令和 5 年 3 月より Web 会議室以外でも貸し出し用 PC でウェブ会議ができるよう庁内のネットワークの整備を進めました。		
R5 実績	貸し出し用 PC や iPad を増台し、更なる Web 会議の活用を進めました。		

No.27	テレワークの推進	担当課	人事課 行政改革課
概要	<p>テレワークに必要な利用環境の整備を行うとともに、運用方法を検討するなど、テレワーク導入により職員の働き方改革を進めます。部署を限定した試行を実施し、問題点等を検証した上で庁内全体への導入や利用の促進をします。</p>		
取組内容	<p>自宅から庁内にある LGWAN 接続系端末へリモートアクセスできるような環境整備を行います。</p> <p>運用方法の検討として、テレワーク時の勤務管理や業務管理の方法を定めたガイドラインの作成に取り組めます。</p>		
	取組計画	R3	R4 R5
	テレワーク環境の整備		
	ガイドラインの作成・運用		
R3 実績	<p>新型コロナウイルス感染症拡大を受け、職場における密を回避する取組みの一つとして、地方公共団体情報システム機構（J-LIS）が提供する「自治体テレワークシステム」を活用し、全 250 ライセンスで全庁的にリモートテレワークを実施しました。</p>		
R4 実績	<p>令和 3 年度に引き続き、職場における密を回避する取組みの一つとして、地方公共団体情報システム機構（J-LIS）が提供する「自治体テレワークシステム」を活用し、全 250 ライセンスで全庁的にリモートテレワークをしました。</p> <p>職員が使用する端末のカード認証機能による運用が開始されたことに伴い、自治体テレワーク利用手順マニュアルを更新しました。</p>		
R5 実績	<p>令和 4 年度に引き続き、地方公共団体情報システム機構（J-LIS）が提供する「自治体テレワークシステム」を活用し、全 250 ライセンスで全庁的にリモートテレワークをしました。</p>		

No.28	AI 議事録の活用推進	担当課	行政改革課 議事課
概要	審議会や委員会等の会議に、音声認識による議事録作成支援ツールの活用を推進し、議事録作成にかかる業務の効率化を進めます。		
取組内容	民間事業者が提供する AI を活用した音声情報の自動テキスト化機能を活用し、審議会や委員会等の会議や住民の相談業務への導入を検討します。		
	取組計画	R3	R4
	AI 議事録の実証実験	実施	
	AI 議事録の導入・活用		実施
R3 実績	令和3年7月から9月にかけて AI 議事録の実証実験を行い、有用性等の効果検証を行いました。その結果、AI 議事録の有用性が確認されたため、令和4年度の導入・活用に向け準備を進めることとしました。		
R4 実績	令和4年4月から AI 議事録「AmiVoice ScribeAssist（アミボイス スクライブアシスト）」を導入しました。 良好な音源を収録することができるようマイクスピーカーを導入しました。 AI 議事録の利用促進を図るため、庁内向けに周知啓発を行いました。		
R5 実績	AI 議事録の利用促進を図るため、庁内向けに周知啓発を行い、議会や庁内での会議等における議事録作成に活用しました。		



No.29	庁内におけるデータの活用推進	担当課	行政改革課
概要	効果的な施策の展開や業務の効率化を図るため、庁内のデータの所在の可視化やデータの共同利用を推進します。		
取組内容	公開されたデータを計画の立案や業務効率化に活用するため、職員向けにデータ活用に関する研修を行います。 データの共同利用を推進するため、庁内向けデータの整備、運用ルール等を検討します。		
	取組計画	R3	R4
	データ活用に関する研修	実施	
	庁内データの共同利用	検討	実施
R3 実績	令和3年11月に職員（主任・主査昇格者）29名を対象に、オープンデータ研修を実施しました。		
R4 実績	令和4年11月に職員（主任・主査昇格者）28名を対象に、オープンデータ研修を実施しました。		
R5 実績	市公式ホームページのオープンデータライブラリに公開されているデータを、より実用的かつ活用しやすいファイル形式に修正し、庁内でも活用しやすくすることとしました。		


No.30	ペーパーレス化の推進	担当課	行政改革課 総務課
概要	業務の効率化や省資源化のため、電子決裁の推進やネットワークプリンタの導入検討、将来的なオンライン手続を見据えた押印廃止の対象拡充など、ペーパーレス化を推進します。		
取組内容	引き続き電子決裁の推進を図るとともに、ネットワークプリンタの導入を検討します。また、電子契約及び電子請求サービスの実証実験を実施し、紙の契約書締結との違いやメリット・デメリット、契約業務にかかる業務負担を比較・検証します。		
	取組計画	R3	R4
	ネットワークプリンタ導入		
	電子決裁の推進		
	電子契約・電子請求サービス実証実験		
R3 実績	<p>ネットワークプリンタの導入について、既存のプリンタの借上げ時期を踏まえ、令和5年度から全庁的に導入をする方針としました。</p> <p>電子決裁について、上半期の各課の電子決裁比率を集計し、運用状況の調査、改善指導等を行いました。また、電子決裁の推進に向けた課題や改善点を整理し、運用基準の見直しを図りました。</p> <p>電子契約・電子請求サービスの実証実験を、令和3年3月から8月の期間で実施し、導入効果や有用性等を検証しました。その結果、電子契約は実証実験で明らかになった課題や不安要素を解消するため、今後も引き続き調査・研究としました。電子請求は、財務会計システムとの連携は不可欠であり、単独での導入は見送ることとしました。</p>		
R4 実績	<p>電子決裁の運用基準を見直し、電子決裁とする対象範囲を拡大しました。また、新たな運用基準において、各課の電子決裁率を集計し、運用状況の調査、改善指導等を行いました。</p>		

R5 実績	<p>庁内での電子決裁の推進状況を把握するため、月ごとの各課の電子決裁率を集計しました。その結果により、改善が必要と考えられる部署を特定し、改善に向けて個別にヒアリング調査等を実施し、改善策の実現のためフォローアップを図りました。</p> <p>また、各課からの照会事項等から運用の改善策について庁内周知を行い、電子決裁の推進を図りました。</p> <p>令和5年11月に内部事務及び外部事務のペーパーレス化を進めるための基本的な考え方を整理した「小牧ペーパーレス DX ルール」を策定し、各部署及び施設管理者等に周知を行いました。</p>
-------	--

No.31	システム標準化への対応	担当課	行政改革課
概要	国が進める地方自治体業務システムの標準化について、システム改修時の費用負担の軽減や、自治体間、国とのデータの連携が容易になること等が期待されています。本市においても国や他自治体の動向を注視し、対応していきます。		
取組内容	基幹系 20 業務システムについて、国の策定する標準仕様に準拠したシステムへ移行するため、調査・研究を行います。		
	取組計画	R3	R4
	地方自治体業務システムの標準化	調査・研究	
	標準準拠システムと現行システムとの違いを分析		実施
	仕様書・要件定義書の作成		実施
R3 実績	令和 3 年 7 月に総務省が作成した「自治体情報システムの標準化・共通化に係る手順書【第 1.0 版】」を踏まえ、令和 7 年度標準化システムへの移行を目指し、スケジュールや今後の取組み等を検討しました。		
R4 実績	標準準拠システムへの更新を進めるにあたりシステム更新の考え方、役割分担及び推進体制等をまとめた方針を策定しました。事務局との進捗報告や課題共有など連絡調整を行うため、デジタルイノベーション推進委員会に作業部会（標準準拠システム更新チーム）を設置しました。現行のシステムベンダーとともに、標準準拠システムと現行システムとの違いを分析しました。（Fit&Gap 分析） また、現在使用している外字文字（MS 明朝）について、標準準拠システムに対応した文字コード（IPAmj 明朝）への同定作業を実施しました。		

R5 実績	<p>令和4年度に行ったFit&amp;Gap分析結果を基に、標準準拠システムに移行した際の運用方法を検討しました。</p> <p>作業部会（標準準拠システム更新チーム）において、標準準拠システム移行に向けたスケジュールの共有、予算の準備等を行いました。</p> <p>標準準拠システム移行に関する仕様書・要件定義書を作成し、業者選定に向けた準備を行いました。</p>
-------	--


No.32	クラウド化の推進	担当課	行政改革課
概要	クラウドサービスを活用することで、費用の抑制を図りつつ、多大な効果を得ることが期待されています。利用するサービスや取り扱う個人情報の内容に配慮した上で、クラウドサービスの積極的な活用を進めます。		
取組内容	地理情報システム（GIS）など、各課が導入している個別システムについて、利便性や費用対効果を考慮し、クラウドへの移行を検討します。		
	取組計画	R3	R4
	クラウド版 統合型地理情報システム		
	個別システムのクラウド化		
R3 実績	担当課が個別に導入している地理情報システム(GIS)について、クラウド版の統合型地理情報システムを導入するため、プロジェクトチームを設置し、検討を行いました。その結果を踏まえ、令和5年度の導入に向け準備を開始しました。		
R4 実績	プロポーザルを実施し、統合型地理情報システムの構築事業者を選定しました。令和5年度の導入に向け、令和4年11月から構築作業を開始しました。		
R5 実績	担当課が個別に導入している地理情報システム(GIS)からデータを抽出し、必要なデータのみをクラウド版の統合型地理情報システムに搭載するよう、データの整理を実施しました。また、円滑な稼働に向け、構築事業者による操作研修を行い、令和5年10月にクラウド版の統合型地理情報システムの利用を開始しました。		

No.33	レセプト精度診断 AI システムの導入	担当課	市民病院（医事課、医療情報システム室）	
概要	レセプト（診療報酬明細書）請求精度の向上を図るため、AI が診療報酬の算定誤りやカルテ記載の不備を判定することができるシステムを導入します。			
取組内容	精度診断に必要なデータを電子カルテなどから抽出し、AI を構築します。出来上がった AI による検知結果を検証し、効果を高めるための改良を行います。また、検知項目の拡大も順次進めます。			
	取組計画	R3	R4	R5
	レセプト精度診断 AI システム導入			
R3 実績	令和 3 年 4 月からレセプト精度診断 AI システムを導入しました。今後も検知項目を拡大するための取組みを進めます。			

(R3 取組完了)

No.34	電子カルテへの音声入力システムの導入	担当課	市民病院 (医療情報システム室)	
概要	医療現場の業務効率化を目的として、電子カルテの入力作業を軽減する音声入力システムの導入を検討します。			
取組内容	電子カルテベンダーが開発中の音声入力ソリューションを一定期間試用し、効果の検証を行い、有益であれば導入を進めます。			
取組計画		R3	R4	R5
音声入力システムの導入				
R3 実績	令和3年8月から令和4年1月にかけて、音声入力システムのトライアルを実施しました。その結果をふまえ、次年度以降も引き続き電子カルテとの連携機能を備えた音声入力システムの導入を検討することとしました。			
R4 実績	電子カルテベンダーの製品開発が遅れており、製品化に至っていないため、導入の検討が進みませんでした。そのため、継続して次年度以降も検討することとします。			
R5 実績	電子カルテベンダーから製品化の案内がありました。令和7年度から令和8年度に掛けて医療情報システム（電子カルテを始めとし、医事会計や放射線、検体検査、リハビリ、透析、眼科、物流、健診などの部門システムを含めた医療情報を扱うシステムの総称）の機器更新を予定しているため、導入時期も含めて引き続き検討します。			



No.35	AI 問診の拡充	担当課	市民病院(医事課)	
概要	医療現場の問診の負担軽減や医療の質の向上を図るため、患者がタブレットに入力した症状・容体に対し、AI が質問を自動生成し、聞き取りをする問診システムの活用を促進します。			
取組内容	AI 問診の対象となる患者に対して積極的な利用を促す他、医師・看護師には問診結果を有効活用出来るよう、マニュアルを作成します。			
	取組計画	R3	R4	R5
	問診の利用促進と、問診結果の活用			
R3 実績	令和3年8月から、初診患者の多い3科（一般内科・皮膚科・整形外科）にて稼働し、1日平均約6名が利用しました。また、12月から救急外来においても稼働を開始しました。			

(R3 取組完了)


⑥ デジタル化に対応できるひとづくり

No.36	各種研修を活用した人材育成	担当課	行政改革課 人事課
概要	ICT やデータを効果的に活用できるよう、デジタル人材の確保、職員のスキル向上支援、専門研修の実施などを行います。		
取組内容	ICT やデータ活用に関する専門技術を習得するため、令和3年度から国等に職員を派遣します。また、情報セキュリティ等の各種研修に参加し、職員の知識習得に努めます。		
	取組計画	R3	R4
	国等へ職員派遣	実施	
	各種研修への参加	実施	
R3実績	<p>地方公共団体情報システム機構（J-LIS）へ1名職員を派遣しました。</p> <p>J-LIS が主催する、情報セキュリティ、個人情報保護、マイナンバーなどの各種研修に参加しました。（合計167名）</p> <p>また、新規採用職員、初級・中級職員向けにセキュリティ研修を実施しました。（合計99名）</p>		
R4実績	<p>デジタル庁へ1名職員を派遣しました。</p> <p>J-LIS が主催する、情報セキュリティ、個人情報保護、ITリテラシーの各種リモート研修を受講しました。（合計239名）</p> <p>また、新規採用職員、初級・中級職員向けにセキュリティ研修を実施しました。（合計81名）</p> <p>職員がLoGoフォームを使用し、アンケートや申込・申請フォームを作成するスキルを習得することができるよう、LoGoフォーム講習会を開催しました。（合計55名）</p>		
R5実績	<p>デジタル庁へ1名職員を派遣しました。</p> <p>J-LIS が主催する、情報セキュリティ、個人情報保護、ITリテラシーの各種リモート研修を受講しました。（合計143名）</p> <p>また、新規採用職員、初級・中級職員向けに情報セキュリティ研修を実施しました。（合計119名）</p>		

	職員向けに LoGo フォーム講習会を開催しました。(合計 27 名) 講習会を受けた後に、申請フォームの作成が困難な方をサポートするため、より実践的な作成方法等に取り組む LoGo フォーム練習会を開催しました。(合計 5 名)
--	--

No.37	デジタル化に対応した公文書の取扱い方法の明確化	担当課	総務課 行政改革課
概要	庁内での統一的な取扱いを図るため、デジタル化された行政文書の運用や管理方法を明確にします。		
取組内容	業務のデジタル化に対応した、保存文書ルール等の行政文書の運用や管理方法を検討し、庁内で統一的な取扱いができるよう、ガイドラインを作成します。		
取組計画	R3	R4	R5
デジタル化に対応した行政文書の運用及び管理方法	検討		
ガイドラインの作成		実施	
R3 実績	ICレコーダーで録音した音声データや LINE ワークス・ロゴチャットでやり取りした情報等に係る行政文書としての取扱い方法について検討しました。		
R4 実績	文書管理システム内に添付され、決裁後に保存されるデジタル化された行政文書について、保存データの内容を分かりやすくし、適切に保存されるよう添付ファイルの名称及びファイルを添付する順番のルールを策定し、ルールのとおり運用するよう庁内通知しました。 また、行政文書に添付される電子化された参考書類の保存や電子添付ファイルの数についても併せて通知しました。		

(R4 取組完了)

No.38	ICT リテラシー・情報モラルの向上	担当課	行政改革課
概要	情報収集の方法や、伝わりやすい情報発信、迷惑メールへの対応、マナーやルールなどを学ぶ機会を提供し、職員の知識獲得、スキルとモラルの向上につなげます。		
取組内容	職員に対し、ICT リテラシー・情報モラル向上のための研修を開催します。		
	取組計画	R3	R4
	ICT リテラシー・情報モラル研修		
R3 実績	新規採用職員、初級・中級職員を対象に ICT リテラシー・情報モラル研修を実施しました。(合計 99 名)		
R4 実績	新規採用職員、初級・中級職員を対象に ICT リテラシー・情報モラル研修を実施しました。(合計 81 名)		
R5 実績	新規採用職員、初級・中級職員を対象に ICT リテラシー・情報モラル研修を実施しました。(合計 119 名)		

No.39	個人情報保護の徹底	担当課	総務課
概要	個人情報の適正な取扱いを確保するため、職員向けの研修を実施し、職員の知識獲得、モラルの向上につなげます。		
取組内容	個人情報保護に関する職員研修を実施し、職員の知識習得に努めます。		
	取組計画	R3	R4
	個人情報保護に関する研修		
R3 実績	情報公開及び個人情報保護について、職員の基礎的な知識の習得を図ることを目的に、情報公開及び個人情報保護に関する基礎研修を実施しました。		
R4 実績	個人情報保護法の改正に伴い、改正後の制度を周知し、従来との違いを理解してもらうとともに、新たな取扱方法で実務を行うため、個人情報保護に関する職員研修を実施しました。		
R5 実績	令和5年度からの改正個人情報保護法の施行に伴い、個人情報保護の重要性及び同法の運用について職員の理解を深めるため、個人情報保護法の運用に係る職員研修を実施しました。		

《参考：1》 オンライン申請可能手続き一覧 ※ (R6.3)

	手続名	担当課	電子証明書の要否
1	職員採用試験申込	人事課	-
2	会計年度任用職員任用申込	//	-
3	任期付職員採用試験申込	//	-
4	行政文書開示請求	総務課	-
5	特別徴収異動届等の提出 (給与所得者異動届出書)	市民税課	●
6	法人の設立異動届出	//	●
7	法人市民税申告	//	●
8	給与支払報告	//	●
9	普通徴収から特別徴収への切り替え 依頼	//	●
10	特別徴収義務者の所在地・名称変更 届出	//	●
11	退職金申告	//	●
12	所得課税証明の請求	//	●
13	償却資産申告	資産税課	●
14	罹災証明書の発行申請	//	-
15	こまき山商標使用取扱申請	シティプロモーション課	-
16	小牧市都市ブランドロゴマーク及び キャッチフレーズの使用に関する申 請	//	-
17	スズメバチ等巣駆除補助金の申請	農政課	-
18	中小企業退職金共済制度助成金の申 請	商工振興課	-
19	工場用地等登録の申込	企業立地・次世代 産業推進課	-

手続名		担当課	電子証明書の要否
20	工場用地等登録内容変更の届出	企業立地・次世代産業推進課	-
21	工場用地等登録抹消の届出	〃	-
22	事業用地等情報提供依頼の申請	〃	-
23	自転車乗車用ヘルメット購入費補助金の申請	市民安全課	-
24	犬の死亡届	環境対策課	-
25	犬の登録事項変更届	〃	-
26	特定建設作業実施届出書	〃	●
27	子ども版健康いきいきポイント事業達成者記念品の申請	健康生きがい推進課	-
28	小牧市ウォーキングアプリ alko チャレンジ事業達成者記念品申請届出	〃	-
29	集団がん検診の申込	保健センター	-
30	離乳食教室の予約申込	〃	-
31	乳幼児健診の日時変更	〃	-
32	ヤング検診の予約申込	〃	-
33	いきいき世代個別歯科健診受診券再発行	〃	-
34	歯周病予防個別健診受診券再発行	〃	-
35	口腔がん検診の申込	〃	-
36	小学校運動部活動民間指導者登録の申請	文化・スポーツ課	-
37	中学校運動部活動民間指導者登録の申請	〃	-
38	災害弔慰金の支給申請	福祉総務課	-
39	災害障害見舞金の支給申請	〃	-

	手続名	担当課	電子証明書の要否
40	災害援護資金の貸付申請	福祉総務課	-
41	被災者生活再建支援金の支給申請	//	-
42	寝具乾燥クリーニングの申請	地域包括ケア推進課	-
43	外出支援サービスの申請	//	-
44	訪問理美容サービスの利用申請	//	-
45	高齢者等健康診断書料の助成の申請	//	-
46	高齢者日常生活用具の給付の申請	//	-
47	行方不明高齢者家族支援サービスの申請	//	-
48	家族介護用品の支給の申請	//	-
49	ねたさき高齢者等介護者手当の支給の申請	//	-
50	高額介護サービス費の申請	介護保険課	●
51	介護保険負担限度額認定の申請	//	●
52	介護保険居宅介護（介護予防）住宅改修費の支給申請	//	●
53	介護保険居宅介護（介護予防）福祉用具購入費の支給申請	//	●
54	居宅（介護予防）サービス計画作成依頼（変更）届出書	//	●
55	介護保険被保険者証等の再交付申請	//	●
56	介護保険要介護・要支援認定の申請	//	●
57	要介護・要支援状態区分変更認定の申請	//	●
58	住所移転後の要介護・要支援認定申請	//	●
59	介護保険負担割合証の再交付申請	//	●
60	介護保険料還付の申請	//	-



	手続名	担当課	電子証明書の要否
61	転出届	市民窓口課	●
62	戸籍附票の写し交付申請書	//	●
63	住民票の写し交付申請書	//	●
64	住民票記載事項証明書交付申請書	//	●
65	身分（身元）証明書交付申請書	//	●
66	独身証明書交付申請	//	●
67	児童クラブ休会届	こども政策課	-
68	児童クラブ加入期間変更届	//	-
69	児童クラブ退会届	//	-
70	児童クラブ加入申込	//	-
71	児童手当の受給事由消滅の届出	//	●
72	児童手当支払金融機関等変更の届出	//	●
73	児童手当等の現況届	//	●
74	児童手当等の額の改定の請求及び届出	//	●
75	児童手当等の受給資格及び児童手当の額についての認定請求	//	●
76	児童手当・特例給付の氏名変更／住所変更等の届出	//	●
77	未払いの児童手当等の請求	//	●
78	児童手当等に係る寄付の申出	//	●
79	児童手当等の寄付変更等の申出	//	●
80	受給資格者の申出による学校給食費等の徴収等の申出	//	●
81	受給資格者の申出による学校給食費等の徴収等の変更等の申出	//	●
82	児童扶養手当の現況届の事前送信	//	●

	手続名	担当課	電子証明書の要否
83	心身障害者医療費受給者証再交付申請	保険医療課	-
84	心身障害者医療に係る医療費受給資格変更の届出	//	-
85	精神障害者医療費受給者証再交付申請	//	-
86	精神障害者医療に係る医療費受給資格変更の届出	//	-
87	母子・父子家庭医療費受給者証再交付申請	//	-
88	母子・父子家庭医療に係る医療費受給資格変更の届出	//	-
89	子ども医療費受給者証交付申請	//	-
90	子ども医療費受給者証変更申請	//	-
91	子ども医療費受給者証再交付申請	//	-
92	後期高齢者福祉医療費受給者証の再交付申請	//	-
93	国民健康保険の脱退	//	-
94	納付済額確認書交付申請	//	-
95	限度額適用・標準負担額減額認定申請	//	-
96	医療費のお知らせ再発行依頼の申出	//	-
97	センターモール利用申請	多世代交流プラザ	-
98	登録団体申込	//	-
99	使用料減免申請	//	-
100	まなび創造館利用申込	//	-
101	託児室の利用申請	//	-
102	女性人材バンク登録申請	//	-
103	妊娠の届出	子育て世代 包括支援センター	●

	手続名	担当課	電子証明書 の要否
104	産後ケア事業の利用申請	子育て世代 包括支援センター	-
105	低体重児の届出	//	-
106	保育施設等の現況届	幼児教育・ 保育課	●
107	保育施設等の利用申込	//	●
108	支給認定(保育の必要性)の申請	//	●
109	施設等利用給付費請求(認可外等)	//	●
110	道路占用工事着手届	道路課	-
111	道路占用工事完了届	//	-
112	特殊車両通行許可申請及び協議	//	-
113	木造住宅の無料耐震診断	建築課	-
114	都市計画図等交付申請	都市計画課	-
115	土地区画整理事業施行地区内建築行為等許可申請書の申請	区画整理課	-
116	都市公園内行為許可申請	みどり公園課	-
117	給水装置工事店主任技術者選任・解任の届出	上下水道経営課	-
118	水道の開栓・閉栓の手続き	上下水道業務課	-
119	給水装置所有者変更の届出	//	-
120	消防計画作成(変更)届出書	予防課	-
121	防火・防災管理者選任(解任)届出書	//	-
122	全体についての消防計画作成(変更)届出書	//	-
123	統括防火・防災管理者選任(解任)届出書	//	-
124	自衛消防組織設置(変更)届出書	//	-

	手続名	担当課	電子証明書の要否
125	防火対象物点検結果報告書	予防課	-
126	防火対象物点検報告特例認定申請書	//	-
127	管理権原者変更届出書	//	-
128	防災管理点検報告特例認定申請書	//	-
129	消防用設備等点検報告書	//	-
130	工事整備対象設備等着工届出書	//	-
131	消防用設備等設置届出書	//	-
132	私立高等学校授業料等補助金申請	学校教育課	-
133	利用者カードの交付	図書館	-
134	中央図書館施設及び付属設備利用	//	-
135	図書館資料の予約	//	-

《オンライン申請》

申請・届出等のうち、ぴったりサービス・あいち電子申請届出システム・L o G o フォーム等で受付を行っているもの。

※講座の申込や単に申請書のダウンロードのみの場合は除く

《参考：2》 AI-OCR・RPA 導入業務 ※ (R6.3)

	様式・シナリオ名	担当課	AI-OCR	RPA
1	広報こまき市民(読者)アンケート	広報広聴課	●	-
2	会計年度任用職員勤務状況入力業務	行政改革課 他	-	●
3	給与システム(基本情報登録)入力業務	人事課	-	●
4	給与システム(振込口座登録)会計年度職員入力業務	//	●	●
5	給与システム(振込口座登録)正規職員入力業務	//	●	●
6	給与所得者異動届出書	市民税課	●	●
7	市県民税申告書(0円)受付業務	//	●	●
8	確定申告データの他市回送業務	//	-	●
9	総合住民情報システム(G-Coas)メモ情報入力業務	//	-	●
10	軽自動車税新規登録業務(新規)	//	-	●
11	軽自動車税新規登録業務(名義変更)	//	-	●
12	軽自動車税廃車処理業務(新規)	//	-	●
13	軽自動車税廃車処理業務(名義変更)	//	-	●
14	軽自動車税リサイクルシステム確認業務	//	-	●
15	総括表発送対象者入力業務	//	-	●
16	eLTAX 特別徴収納付書要否変更業務	//	-	●
17	区画整理仮換地課税移行業務	資産税課	-	●
18	口座振替依頼書	収税課	●	●
19	口座振替依頼書(ゆうちょ銀行)	//	●	●

	様式・シナリオ名	担当課	AI-OCR	RPA
20	口座振替依頼書（介護保険料）	収税課	●	●
21	口座振替依頼書（後期高齢者医療保険料）	〃	●	●
22	口座振替依頼書（国民健康保険税）	〃	●	●
23	口座振替依頼書（市県民税・固定資産税・軽自動車税（種別割））	〃	●	●
24	鳥獣による農作物被害状況アンケート	農政課	●	-
25	エコライフチェックシート	環境対策課	●	-
26	当選結果メール送付業務	保健センター	-	●
27	介護保険認定調査票（口腔ケア）	介護保険課	●	-
28	健康検査受診結果通知表（後期高齢者用）	保険医療課	●	-
29	人間ドック受診結果通知表（後期高齢者用）	〃	●	-
30	健康検査受診結果通知表（国民健康保険用）	〃	●	-
31	人間ドック受診結果通知表（国民健康保険用）	〃	●	-
32	小牧市民病院特定健診受診結果通知表（国民健康保険用）	〃	●	-
33	小牧市民病院人間ドック受診結果通知表（国民健康保険用）	〃	●	-
34	妊婦健康診査受診票	子育て世代包括支援センター	●	●
35	妊婦健康診査受診票（子宮頸がん）	〃	●	●
36	新生児聴覚検査受診票	〃	●	●
37	乳児健康診査受診票	〃	●	●
38	産婦健康診査受診票	〃	●	●

	様式・シナリオ名	担当課	AI-OCR	RPA
39	出産応援ギフト支援申請書兼請求書	子育て世代包括支援センター	●	-
40	子育て応援ギフト支給申請書兼請求書	//	●	-
41	過誤納金整理簿	医事課 (市民病院)	●	-
42	外来アンケート	//	●	-
43	救急外来アンケート	//	●	-
44	配本申込書（児童クラブ）	図書館	●	-
45	配本申込書（児童館）	//	●	-
46	配本申込書（保育園）	//	●	-
47	配本申込書（小学校）	//	●	-
48	健康いきいきポイント	健康生きがい推進課	●	-

わたくしたち小牧市民は、小牧を

1. 健康で生きがいのある明るいまちにしましょう。
1. 感謝と思いやりのあるあたたかいまちにしましょう。
1. 緑とやすらぎのある美しいまちにしましょう。
1. 高い文化と教養のある豊かなまちにしましょう。
1. 希望と働く喜びのある活気あふれるまちにしましょう。

■ こども夢・チャレンジ No.1 都市宣言（要約）

市制施行 60 周年

私たちは、こどもの夢への挑戦をまち全体で応援することで、こどもを中心に世代を越えて市民がつながり、支え合う、すべての市民が暮らしやすい、あたたかいまちになっていくと確信します。

そこで、私たち小牧市民は、

- 一. こどもの夢への挑戦を応援することで元気になるまち
  - 一. 世代を越えて市民のつながりが生まれるまち
  - 一. 支え合うことでさらに住みよくなっていくまち
- このようなまちの実現に向け、小牧市を「こども夢・チャレンジ No.1 都市」とすることを、ここに宣言します。